

五峡の子

学校だより 6月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
平成30年6月1日(金)
TEL 3 8 9 2 - 9 5 1 5
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」



みんなが輝いた運動会！



校長 出井 玲子

町屋駅から歩いてくると紫陽花がそこここに咲いています。小さな一つ一つの花びらが肩寄せ合う丸い姿は、まるで各クラスの児童の様です。そして、その浅葱色や水色・紫の花が一つの木に咲き誇ります。同じ木に咲く花なのに少しずつ違う色合いは、さながらクラスの色でしょうか。

先月5月27日(日)は快晴に恵まれ、平成30年度の運動会を実施する事ができました。当日は多数のご来賓、会場いっぱいの保護者、地域の皆様に熱い声援や温かな拍手を送って頂き、ご光彩を添えて頂きありがとうございました。心より感謝申し上げます。暑い位の天候に、特に低・中学年の児童は、「表現」の身支度で法被を着るなどのタイミングを兼ねて教室に戻り水分補給し、熱中症対策をしながら演技・競技の発表を行いました。

今年の運動会のスローガンは「みんなが主役！ 最後まで光り輝け！」でした。そこで、子供たちに2つの目標を伝えました。①自分のもてる力を出しきる。②一生懸命頑張っている友達を心から一生懸命に応援する。です。

本番では、練習の成果を十分に発揮し、暑さの中もてる力を出しきり、最高のパフォーマンスを見せてくれました。演技中や競技終了後の子供たちの満足した表情や笑顔がとても印象的で、今でも思い出すと嬉しくなります。また、高学年の児童は係活動にも責任をもって取り組みました。友達への心からの応援は、夢中で競技する友達を応援団を中心に声の限り応援する姿や競技中転んでしまった子を紅白のチームを超えて応援する姿も見られ、子供たちの成長を感じました。運動会後の全校朝会で、「①②のどちらの目標も十分に達成できましたね。」と伝えたことは、言うまでもありません。そして、もう一つ「運動会では総合優勝は白組、応援優勝は紅組と勝敗が分かれていましたが、実は前述の目標を達成することこそ本当の勝利、「自分に勝つこと」なんだ。」という話をしました。

各学年の「表現」でも、小学校初めての運動会である1年生から小学校最後の運動会となった6年生まで何度も練習を重ねてこの日を迎えました。児童たちが振り付けを考えて創り上げた6年「Festivo

リボン

～2018再生」は、試行錯誤や挫折、葛藤を繰り返す毎日でしたが、その甲斐あって本番は小学校最後の運動会を、自分たちの手で素晴らしいものにしようという意気込みが感じられ大成功でした。これもひとえに保護者の皆様のお支えがあったからこそです。本当にありがとうございました。

また、この日を迎えるにあたっては、PTA役員の方々を始め、事前の準備や当日も早朝からご協力頂きました委員の皆様、おやじの会の皆様のお陰です。改めて感謝申し上げます。

大きな成果を収め、節目の行事が終わりました。6月も5年生の清里移動教室を始め、子供たちが生き生き学ぶ学習や行事がたくさんあります。今月は、読書月間です。学校図書館の前には、「どれみふあけろけろ」や「魔法のスリッパ」など荒川区推薦図書や五峡小推薦図書が紹介されています。パワフルな運動会の後は、読書にいそしむ時間を作ってみるのも良いかもしれません。

小さな花が肩寄せ合う丸い紫陽花は、雨に濡れて強くなり、浅葱や紫の美しい色を濃く増します。一学期後半に向け、子供たちと教職員の力を一つにクラスや学年、学校の強さと美しい色を増すよう教育活動の充実を目指して参りたいと存じます。